



平成 30 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・ピー・エス

銘 柄 名 株式会社 I P S

代表者名 代表取締役 宮下 幸治

(コード番号:4390 東証マザーズ)

問合せ先 取締役管理本部長 林田 宣之

(TEL. 03-3549-7719)

連結子会社による増資の引受け及び
債務の株式化（デット・エクイティ・スワップ）に関するお知らせ

当社は、本日、日本の会計基準に基づく当社の連結子会社である InfiniVAN, Inc.（以下、「InfiniVAN」といいます。）が同社の株主である当社及び日本の会計基準に基づく当社の連結子会社である CorporateONE Inc.（以下、「CorporateONE」といいます。）に対して行う株主割当増資について、下記のとおり当社が引受けること、及びその全額を当社の InfiniVAN に対する貸付金に係るデット・エクイティ・スワップ（以下、「DES」といいます。）により実施することについて取締役会の決議を行いましたので、お知らせいたします。

なお、本書類の為替換算レートは、1 フィリピンペソ（以下、「PHP」といいます。）=2.12 円としております。実際の為替換算レートは、変更となる場合がございます。

記

1. InfiniVAN の増資の引受について

(1) InfiniVAN の増資の目的

フィリピン国内にて通信事業を行っている InfiniVAN は、平成 29 年 11 月にルソン島における通信事業の適格である Certificate of Public Convenience and Necessity（以下、「CPCN」といいます。）の Provisional Authority（以下「PA」といいます。）を所管官庁である国家通信委員会（以下「NTC」といいます。）より取得いたしました。また、平成 30 年 9 月にビサヤ・ミンダナオにおける CPCN の PA も同様に取得いたしました。ただ当該 PA の取得に際し、NTC よりルソン島における PA では約 305 百万 PHP（第 27 期有価証券報告書 20 ページに記載）、ビサヤ・ミンダナオにおける PA では約 185 百万 PHP（平成 30 年 9 月 13 日に公表）、合計約 490 百万 PHP（約 1,039 百万円）の増資義務が課されております。

この度、上記増資義務を履行すること及び今後の事業展開を考慮して 583 百万 PHP（1,235 百万円）の株主割当増資を実施するものであります。

(2) InfiniVAN の概要

①名称	InfiniVAN, Inc.	
②所在地	Unit 1710, 17 th Floor Hanston Square Bldg., San Miguel Ave., Ortigas Center, Pasig City, Philippines	
③代表者の役職・氏名	President Enrique G. Yu	
④事業内容	フィリピン国内における法人向けインターネットサービスの提供。	
⑤資本金	31 百万 PHP	
⑥設立年月日	2015 年 4 月 20 日	
⑦大株主及び持株比率	CorporateONE 187,500 株 (60%) 株式会社アイ・ピー・エス 125,000 株 (40%)	
⑧上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の日本の会計基準に基づく連結子会社であります。
	人的関係	当社の取締役 2 名が同社の取締役を兼務しております。
	取引関係	当社と同社はフィリピン国内通信事業に関する取引関係、および資金の貸付があります。
	関連当事者への該当事項	当社の日本の会計基準に基づく連結子会社であるため、関連当事者に該当いたします。

(3) 株主割当増資の内容について

InfiniVAN は、下記のとおり株主割当増資を実施いたします。

(1) 増資金額	583 百万 PHP (1,235 百万円) (予定)
(2) 増資株式数	530,000 株 (1 株につき 1,100PHP)
(3) 増資引受状況	CorporateONE 349 百万 PHP (318,000 株) 株式会社アイ・ピー・エス 233 百万 PHP (212,000 株)
(4) 払込期日	平成 30 年 11 月 8 日 (予定)
(5) 増資後の資本金	614 百万 PHP
(6) 増資後の資本構成	CorporateONE 505,500 株 (60%) 株式会社アイ・ピー・エス 337,000 株 (40%)

(4) DES の実施について

当社は、InfiniVAN の株主割当増資にて引受する株式の引受金額全額について DES を実施することにより同社に対する貸付金から割当てることといたしました。当社の同社に対する貸付金は、約 352 百万 PHP ありますので、212,000 株の引受金額 233 百万 PHP (494 百万円) について、DES を実施することといたします。

また、CorporateONE は、フィリピン企業・個人から引受資金を調達する予定です。

2. 今後の見通し

本件による平成 31 年 3 月期の連結業績への影響は軽微と考えております。

(注) 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上